

事業評価書

補助事業名	通信施設:共同受信施設改修事業				
補助事業者名	狭山市長				
実施場所	狭山市柏原2877-1他75箇所				
補助事業の成果の目標	<p>狭山市では、人間飛行場に飛来する航空機を原因とするテレビ受信困難地域において、都市型CATV対応施設整備により、受信困難地域のテレビ視聴環境を整備してきており、今後も引き続き当該施設を維持していくことが求められている。</p> <p>しかし、当該施設を構成する鋼管柱及びケーブルの一部においては老朽化が著しく、平成25年9月に鋼管柱が腐食により倒れたことで、家屋の外壁を直撃し、損傷を与えた。その後、鋼管柱の状態調査を実施したところ、鋼管柱の腐食が確認されたことから、順次、鋼管柱の撤去及びケーブルの張替を実施する。</p> <p>撤去後の鋼管柱の新設は行わず既存の電柱に共架することを基本とすることで、民地、住宅密集地に存在する鋼管柱が無くなり、住民の安全の確保を図ると共にケーブルの張替により、視聴環境の維持を図る。</p> <p>【参考指標】 更新を必要とする鋼管柱 101本(令和2年7月時点) 更新の経過 H28 87本、H30 94本、R01 46本</p>				
補助事業の内容	鋼管柱の撤去等及びケーブルの張替				
補助事業の始期及び終期	平成29年度から令和3年度				
事業費及び交付金額 (総事業費)		令和元年度 以前	令和2年度	令和3年度 以降予定	計
	事業費	円 45,534,973 (47,838,604)	円 35,977,565 (39,050,000)	円 3,000,000 (3,815,000)	円 84,512,538 (90,703,604)
	交付金額	円 40,758,000	円 32,000,000	円 2,000,000	円 74,758,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 周辺住民に聞き取り調査を実施した結果、改修前は老朽化した鋼管柱に不安を覚えていたり、景観が悪い等の意見があったが、改修工事後には解消されたといった回答が得られたため、周辺住民の安全確保、生活環境の改善が図られたと判断する。また、視聴環境に関して悪化したとの意見は無かったことから、視聴環境は維持できたものと判断する。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」及び市公式ホームページに掲載住民へのアンケート調査用紙に記載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	消防に関する施設:防災備蓄倉庫購入				
補助事業者名	狭山市長				
実施場所	狭山市柏原622				
補助事業の成果の目標	<p>当市では、市内の指定避難所等に防災備蓄倉庫を設置し、災害発生時の応急対策活動の円滑化を目的に、当面必要な食料、生活資材、活動用機材等を備蓄している。しかし、既存のコンテナ式防災備蓄倉庫については、設置後30年以上が経過し、老朽化に伴う損傷が著しく、食料や飲料水等の備蓄環境には適していない状況である。</p> <p>そこで、令和2年度を目標に、既存のコンテナ式防災備蓄倉庫23か所について、蓄電池機能を備えた太陽光発電設備やLED照明、換気扇、非常用コンセントなどを備え付けたコンテナ式防災倉庫への更新整備を進めるとともに、新たに指定避難所となる施設等9か所に同様の防災備蓄倉庫を設置し、迅速な物資供給体制を整備することにより、指定避難所の防災機能及び自立機能の強化を図る。</p> <p>なお、今年度は指定避難所1か所への新規設置を行う。</p> <p>【参考指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンテナ式防災備蓄倉庫設置箇所数 (太陽光発電設備等付) <p>既設箇所数 31か所 / 計画箇所数 32か所</p>				
補助事業の内容	防災備蓄倉庫の購入				
補助事業の始期及び終期	平成26年度から令和2年度				
事業費及び交付金額		令和元年度まで	令和2年度		計
	事業費	円 102,064,618	円 3,410,000	円	円 105,474,618
	交付金額	円 91,170,000	円 3,000,000	円	円 94,170,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕</p> <p>今年度の整備が完了したことで、市のコンテナ式防災備蓄倉庫整備計画の目標数である32か所に達し、指定避難所等における備蓄品の適切な品質管理や迅速な供給体制が確保され、災害時の応急対応力の向上が図られるとともに、市民に対し、市の防災体制に関して周知する機会となり、防災意識が醸成されたものと判断する。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倉庫扉に防衛省の交付金を活用して設置した旨を掲示 ・市公式ホームページ、基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」で周知 				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	交通施設:市道幹第32号線外1線改良舗装				
補助事業者名	狭山市長				
実施場所	狭山市 新狭山1丁目・大字東三ツ木 地内				
補助事業の成果の目標	<p>本市では、既設幹線道路の舗装の劣化に対し、計画的に改良舗装工事を行い、交通の安全性、生活環境の改善を行っている。</p> <p>当路線は、川越市境を起点として市の中心部、国道16号線及び入間川を横断し、隣接する日高市に抜ける幹線道路として40年前に整備された重要な路線であり、川越狭山工業団地に隣接しているため、大型車交通量や夜間通行が多い路線である。</p> <p>近年では、都市計画道路川越駅南大塚線の開通により通過交通や宅地開発が進み、舗装の劣化による破損が著しい状況下で安全性の低下や、交通騒音・振動等に伴う地域の生活環境の悪化が生じている。</p> <p>そこで、舗装を打ち替えて平坦性を確保することで、交通の安全性や地域住民の生活環境の向上を図る。</p> <p>【参考指標】 対象地区人口/世帯数（5,991人/2,969世帯） ※令和2年8月1日現在</p>				
補助事業の内容	工事延長 L=340m 道路幅員 W=8.10~9.15m 舗装工 一式				
補助事業の始期及び終期	令和元年度から令和3年度				
事業費及び交付金額 ※（ ）は総事業費		令和元年度	令和2年度	令和3年度	計
	事業費	円 22,940,500	円 27,746,400 (30,624,000)	円 32,300,000	円 82,986,900 (85,864,500)
	交付金額	円 19,000,000	円 25,000,000	円 25,800,000	円 69,800,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 当初の計画通り事業が進捗していること、並びに、地域住民等に対するアンケートの結果、路面の平坦性、騒音及び振動等が改善されたとの回答が得られたことから、交通の安全性や地域住民の生活環境の向上が図られたと判断する。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 工事のお知らせ文書、工事看板、基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」及び狭山市公式ホームページに防衛省交付金活用事業であることを掲載。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	<p>令和元年度より3年間で770mを整備する事業の内、本年度で580mが完了した。</p> <p>アンケートの意見・要望では、渋滞を懸念して施工時期に対する要望が上がっているが、今回は、年末年始を避け夜間工事を実施したため、苦情もなかった。</p> <p>今後も、地域住民の意見要望に配慮しつつ、苦情がないよう周辺への影響を考慮して、引き続き事業を推進していくと共に、交付金事業の周知に努める。</p>				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	交通施設:市道幹第48号線改良舗装				
補助事業者名	狭山市長				
実施場所	狭山市 大字上赤坂 地内				
補助事業の成果の目標	<p>本市では、既設幹線道路の舗装の劣化に対し、計画的に改良舗装工事を行い、交通の安全性、生活環境の改善を行っている。</p> <p>当路線は、県道所沢堀兼狭山線から隣接する川越市へ抜ける幹線市道として重要な路線である。</p> <p>近年では、交差する草刈街道が川越狭山工業団地の物流ルートとして利用されることにより大型車交通量が増加したことに伴い、当路線の交通量も増加したことから、舗装劣化による破損が著しく車両走行の安全性の低下や、交通騒音・振動等に伴う地域の生活環境の悪化等が生じている。</p> <p>そこで、舗装を打ち替えて平坦性を確保することで、交通の安全性や地域住民の生活環境の向上を図る。</p> <p>【参考指標】 対象地区人口/世帯数(726人/342世帯) ※令和2年8月1日現在</p>				
補助事業の内容	工事延長 L=358.5m 道路幅員 W=5.95m～10.85m 舗装工一式				
補助事業の始期及び終期	令和2年度				
事業費及び交付金額			令和2年度		計
	事業費	円 -	円 30,027,800	円 -	円 30,027,800
	交付金額	円 -	円 26,000,000	円 -	円 26,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 令和2年度のみ事業となり、今年度で事業が完了した。路線沿線自治会に対するアンケートの結果、騒音及び振動が改善されたとの回答が多く得られたことから、地域住民の生活環境の向上が図られたと判断する。</p> <p>また、路面状況が改善されたことにより、交通の安全性についても向上したと判断する。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] 工事のお知らせ文書、工事看板、基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」及び狭山市公式ホームページに防衛省交付金活用事業であることを掲載。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	舗装の打替えによる交通の安全性や地域住民の生活環境の改善が図られ、また、アンケート結果については、工事を実施したことに対し感謝する好意的な意見、継続的な整備を要望する意見が多く見受けられたが、一部、工事渋滞を懸念して施工時期に対する要望が上がっていることから、来年度以降の他路線事業においても、周辺への影響に配慮し事業を進めるよう努める。				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	スポーツ又はレクリエーションに関する施設:公園維持作業車購入事業				
補助事業者名	狭山市長				
実施場所	狭山市入間川1-23-5				
補助事業の成果の目標	<p>当市の公園維持作業車は、公園施設等の維持管理作業のため、ほぼ毎日使用し、施設の安全性・利便性を確保している。</p> <p>更新する公園維持作業車は購入後10年以上経過しており、老朽化が著しいため、運用に支障を来す可能性がある。</p> <p>については、老朽化した車両の更新を行い、公園施設等の安定的な維持管理と緊急対応に備えることで、市民が安心・快適に施設を利用できる様に生活環境の安定を図る。</p> <p>【参考指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園維持作業車 年間出動日数231日(令和元年度) 				
補助事業の内容	公園維持作業車1台購入				
補助事業の始期及び終期	令和2年度				
事業費及び交付金額 ()内は総事業費		令和元年度以前	令和2年度	令和3年度以降予定	計
	事業費	円 0	円 3,591,860 (3,765,881)	円 0	円 3,591,860 (3,765,881)
	交付金額	円 0	円 3,000,000	円 0	円 3,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕</p> <p>車両更新後の作業員への聞き取り調査の結果、荷台が低床であることから、樹木の剪定枝や器具の積み込み作業の軽減が図れた事や、後部のあおり部に回転ピン(あおり落下防止)を装着した事から、ダンプアップ時に枝葉がスムーズに処理場に落とせ、4WDとオールシーズンタイヤになったことで、公園内の悪路にも対応できるなど、作業の効率化が図られたとの回答が得られた。</p> <p>については、車両の更新により公園施設等の安定的な維持管理に寄与したため、市民の公園利用に対する安全と生活環境の安定を図ったと判断する。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車体に交付金事業であることを明記 ・基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」及び公式ホームページにて掲載 				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	スポーツ又はレクリエーションに関する施設:狭山市駅東口二本松公園				
補助事業者名	狭山市長				
実施場所	狭山市祇園490番				
補助事業の成果の目標	<p>本事業は、狭山市駅東口区画整理事業で作られた2,300㎡の土地を公園用地として、当課により都市公園(街区公園)としての整備を実施するものである。</p> <p>当該公園の整備については、「土地の個性を生かし、みんなが安心安全で親しみ憩うことのできる拠点の形成を図る。」と公園基本設計で位置付けられている。</p> <p>よって、土地の起伏・既存樹木等を利用した、安心安全で地元住民の集う場所として活用する。</p> <p>【参考指標】 旭町自治会 560世帯</p>				
補助事業の内容	公園整備工事 ダスト舗装 アスファルト舗装				
補助事業の始期及び終期	令和2年度				
事業費及び交付金額		令和元年度以前	令和2年度	令和3年度以降予定	計
	事業費	円 0	円 22,660,000	円 0	円 22,660,000
	交付金額	円 0	円 18,000,000	円 0	円 18,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 地元自治会へのアンケート調査の結果、今後の公園の利用について、自治会の夏祭り等各種イベントの開催が見込まれ、また、整備された公園の維持管理にも関心があり、市民が安心及び快適に公園を利用できる様、維持管理することで、今後においても継続的に公園の利用が見込まれ、地域の憩いの場としての公園整備ができた判断する。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] ・園名板に交付金事業であることを明記 ・基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」及び公式ホームページに掲載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業:小学生学習支援事業				
補助事業者名	狭山市長				
実施場所	狭山市内小学校(15箇所)				
補助事業の成果の目標	<p>本市における小学生の学習課題の一つに算数科の基礎基本の定着があり、人間地区学力調査等において伸び悩んでいる状況が毎年結果として出ている。</p> <p>そこで、外部の専門講師によって学校の学習指導を補完するとともに、学習の支援をすることにより、基礎的基本的な内容を身に付けさせ、学力の向上を促す。</p> <p>これにより、児童の学習への興味・関心をさらに高め、分からないところや学習の躓きを無くしていくとともに、算数科への自信をつけさせることで、参加する児童一人一人の学力の定着及び向上を図る。</p> <p>【参考指標】 算数を苦手と感じ小学生学習支援事業に事前に申し込んだ市内小学校第4学年の児童数:243人(令和2年6月30日現在)</p>				
補助事業の内容	学校の授業以外で児童が学習する機会を設け、児童の学習への興味・関心をさらに高め、分からないところや学習の躓きを無くするため指導・支援をしていく。				
補助事業の始期及び終期	令和元年度から令和5年度				
事業費及び交付金額 (総事業費)		令和元年度以前	令和2年度	令和3年度以降	計
	事業費	円 8,091,160 (8,484,960)	円 7,316,848	円 26,997,212	円 42,405,220 (42,799,020)
	交付金額	円 8,000,000	円 7,000,000	円 24,000,000	円 39,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 算数科の学習内容が身につけているかについては、事前事後アンケートの結果において身につけている・だいたい身につけていると回答した児童が67%から83%に向上、算数科の勉強に自信があるかについては、事前事後アンケートの結果において自信がある・だいたい自信があると回答した児童が50%から72%に向上した。事前事後アンケートの結果の変容から、情意面において算数科の学習に対する肯定的な考えが向上したことが伺える。事前事後テストの変容をみると、事前テストの平均得点が57点、事後テスト(事前テストと同様の問題)の平均得点が73点となり、16点向上した。少人数で指導・支援を行う小学生学習支援事業に継続して参加したことによって、児童の学習への興味・関心をさらに高め、分からないところや学習の躓きを減らすことができたと考えられる。また、算数科への自信が付き、一人一人の学力の定着及び向上が図られたと判断する。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 児童及び保護者向けの募集案内、狭山市公式ホームページ、基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」に特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用している旨を掲載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	算数の基礎的な内容の定着と、学習意欲の向上につながる事業を実施していく。				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し				

事業評価書

補助事業名	医療に関する事業:予防接種助成事業									
補助事業者名	狭山市長									
実施場所	狭山市内医療機関									
補助事業の成果の目標	<p>予防接種法に規定されている麻疹(はしか)・風疹(三日はしか)は感染力の強い疾病であり、また、ジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎、破傷風は感染すると重篤になる場合が多い疾病である。これに対して、最も有効な対策は発生の予防であり、その手段として、予防接種により免疫を獲得することが重要とされている。</p> <p>本市では、予防接種に要する費用を負担することなく、接種を受けられる環境を整備するとともに、市民に向けて適切な情報提供を行っており、対象者の9割以上が接種を受けている状況である。そこで、本事業を継続して実施し、ジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎、麻疹(はしか)、風疹(三日はしか)、破傷風の発生及びまん延の防止に取り組むことで、市民の健康増進を図る。</p> <p>【参考指標】 令和2年度麻しん、風しん接種対象者数:1,898人(令和2年12月31日時点) 令和2年度四種混合(ジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎、破傷風)接種対象者:928人(令和2年12月31日時点)</p>									
補助事業の内容	ジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎、麻しん、風しん、破傷風に係る予防接種費の助成									
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成23年度から令和7年度 基金の処分:平成24年度から令和8年度									
事業費及び交付金額	基金造成額(A)					基金処分額(B)	基金残額(A)-(B)	継続事業に要した額		
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益				計	円
	23	62,216,000				62,216,000		62,216,000		
	24	72,468,000				72,468,000	40,000,000	94,684,000	46,154,905	
	25	56,009,000				56,009,000	25,000,000	125,693,000	26,070,500	
	26	25,000,000				25,000,000	25,000,000	125,693,000	25,407,839	
	27	10,000,000				10,000,000	24,000,000	111,693,000	24,437,997	
	28	29,749,000				29,749,000	24,000,000	117,442,000	24,657,396	
	29	10,086,000				10,086,000	23,000,000	104,528,000	23,485,058	
	30	1,900,000				1,900,000	40,000,000	66,428,000	52,145,890	
	1	10,000,000				10,000,000	42,000,000	34,428,000	53,716,461	
	2	28,842,000				28,842,000	50,000,000	13,270,000	53,424,066	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	〔補助事業の成果及び評価〕 麻疹・風疹及び四種混合予防接種助成事業は、令和2年度の接種対象者の9割以上が予防接種を受けていることから、市民の健康増進が図られたと判断する。 〔地域住民への周知の実施状況〕 「健康カレンダー」、狭山市公式ホームページ、基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」に特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用している旨を掲載									
事業の改善措置及び今後の対応	無									
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無									